

2019年度(第1-2四半期) 事業の報告書

(2019年4月1日▶2019年9月30日)



【表紙写真について】

2019年に竣工した撒積船 “NSU YOUNG STAR”
(載貨重量208,462トン)

証券コード 9110



NSユナイテッド海運株式会社



代表取締役社長

谷水一雄

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

事業環境に関して

当中間期（第2四半期累計期間）における世界経済は、米中貿易摩擦に加え、英国のEU離脱問題、さらには緊張の高まる中東情勢の影響などの景気の下振れリスクに晒され、減速しました。外航海運市況のうち、ドライバルク市況は、第1四半期に本年1－3月期の市況低迷の影響が残りましたが、第2四半期にはバルチック海運指数が一時2010年11月以来の高値に達する程に回復しました。また、タンカー市況は中東における地政学的リスクの高まりなどから先行きの不透明感が増し、市況を押し上げました。一方、内航海運市況は台風の荷動きへの影響などから低調に推移しました。燃料油価格につきましては、平均消費価格がトン当たり約439ドル（内外地平均C重油）と、前年同期比では約10ドルの上昇に留まりました。また、対米ドル円相場は期中平均は109円50銭と、前年同期比では17銭の円高とほぼ同水準でしたが、一時的に105円を割り込むなど、やや円高傾向が見られました。

当中間期の業績・配当に関して

このような環境下、当中間期の連結業績は、売上高719億円、営業利益29億円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する四半期純利益37億円と前年同期比で減収減益となりましたが、期首の予想を上回る収益を確保しました。

当社は、株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、昨年度に続き中間配当の実施を決定し、1株あたり45円とさせていただきますとしました。

通期の見通しに関して

2020年3月期の連結業績は、売上高1,510億円、営業利益81億円、経常利益64億円、親会社株主に帰属する当期純利益78億円を予想しております。また、期末配当につきましては未定ながら、連結業績に対する配当性向を概ね30%とする当社方針に基づき配当する予定です。なお、第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率は108円、燃料油価格は内地C重油価格トン当たり435ドル、来年1月から実施されるSOx排出規制後に使用する適合燃料油価格はトン当たり680ドルとしております。

中期経営計画に関して

2019年度は現行中期経営計画『NSU 2021』の最終年度となります。重点戦略として掲げた「安定収益の拡充」「輸送品質の向上」「環境保全への積極的な取り組み」に対して、新規輸送契約の締結や省エネ型新造船の竣工等を着実に進め、引き続き業績の向上に努めて参ります。また、2020年度を初年度とする次期中期経営計画の策定に向けて、グループ全体での検討を開始し、準備を進めています。

●外航海運事業

ケーブ型撒積船市況は、ブラジル鉱山ダム決壊事故に伴う影響で主要5航路平均用船料率が4月上旬に日額3千ドル台と低迷しましたが、事故後、主に中国による旺盛な鉄鉱石需要で市況が上昇し9月には3万ドルを超える水準まで回復しました。こうした状況下、3隻の新造船が竣工し、主要荷主である日本製鉄株式会社をはじめ国内外の顧客向けに輸送契約を獲得するなど営業活動を積極的に展開した結果、当初の計画を達成することができました。

パナマックス型撒積船市況は、ケーブ型市況の低迷を受け4月中旬には主要4航路平均用船料率が一時日額6千ドル台まで落ち込みましたが、中国向け石炭・南米積み穀物の荷動き増を背景に、8月末から9月初旬にかけては一時1万6千ドルを超える水準まで回復しました。こうした状況下、国内電力・一般産業・海外顧客向けの貨物を獲得し支配船隊の効率配船に注力したものの、4-6月期の市況低迷時の損失を挽回するまでには至らず、当初の計画を達成することができませんでした。

ハンディ型撒積船は、往航主力貨物である米国向け鋼材において追加関税措置の継続により輸送数量減少の影響を受けながらも中米その他方面向け集荷に努め、一定の収益を確保しました。復航主力貨物においては、中南米積み非鉄金属などの既存貨物を活用した効率配船に努めましたが、長期契約でカバーされない船腹が当期前半に続いた市況低迷の影響を受けた結果、全体として当初の計画を達成することができませんでした。

近海水域における小型船は、主力貨物である日本積中国向け鋼材輸送が、現地材使用比率増加の影響で漸減、米中貿易摩擦の影響もあり輸送量が大きく減少しました。また8・9月に例年を上回る頻度で発生した台風の影響を受けた結果、効率配船の徹底に努めたものの当初の計画を達成することができませんでした。

VLGC（大型LPG運搬船）は、期初から概ね堅調だった市況が夏場以降も高い水準で推移し、一部の市況連動契約により当初の計画を大きく上回りました。

外航海運事業



■売上高

598億84百万円
(前年同期比 6.4%減)



■営業利益

25億20百万円
(前年同期比 34.7%減)

内航海運事業



■売上高

120億66百万円
(前年同期比 1.7%増)



■営業利益

3億85百万円
(前年同期比 58.1%減)

●内航海運事業

ドライ貨物につきましては、台風による荒天等の影響を例年以上に受け、鉄鋼原料輸送量及び鋼材輸送量が共に伸び悩んだ結果、当初の計画を達成することができませんでした。

タンカーにつきましては、LNG輸送量は当初の計画を上回りました。LPG輸送量のうち、民生用は夏場の需要減退期を迎え、工業用は内需低迷の影響を受けましたが、化学原料用は好調な国内需要を受けて輸送量は増加し、当初の計画を達成することができました。

連結財務諸表

四半期連結損益計算書（要旨）（第2四半期連結累計期間）（単位：百万円）

Point	科目	前第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
1	売上高	76,081	71,943
	売上原価	68,504	66,176
	売上総利益	7,578	5,767
2	一般管理費	2,816	2,863
	営業利益	4,761	2,904
	営業外収益	607	219
	営業外費用	904	1,235
3	経常利益	4,464	1,888
	特別利益	995	2,802
	特別損失	495	50
	税金等調整前四半期純利益	4,963	4,641
	法人税等	572	910
	四半期純利益	4,392	3,731
	非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	-
	親会社株主に帰属する四半期純利益	4,392	3,731

Point 1 売上高

△4,138百万円

大型船を中心にSOxスクラバー搭載工事を進めたことにより当社運航船の稼働率が低下したことが主要因で、売上高が減少しました。

Point 2 営業利益

△1,857百万円

外航部門の稼働率低下に加え、内航部門においても例年を上回る台風の影響で稼働率が低下し、営業利益は減益となりました。

Point 3 特別利益

+1,808百万円

船舶売却益2,802百万円を計上しました。

売上高



経常利益



第2四半期連結貸借対照表 (要旨) (単位:百万円)

科目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	57,261	51,837
Point 4 固定資産	166,267	174,447
資産合計	223,528	226,284
負債の部		
流動負債	32,140	44,560
Point 5 固定負債	102,350	92,569
負債合計	134,490	137,128
純資産の部		
株主資本	88,881	91,080
その他の包括利益累計額	157	△1,924
純資産合計	89,038	89,155
負債純資産合計	223,528	226,284

Point 4 固定資産

+8,180百万円

新造船竣工による船舶の増加と、スクラパー搭載工事による建設仮勘定の増加が主要因です。

Point 5 負債合計

+2,638百万円

新造船竣工による借入の増加が主要因です。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
Point 6 営業活動による キャッシュ・フロー	9,844	8,351
Point 7 投資活動による キャッシュ・フロー	△567	△12,581
財務活動による キャッシュ・フロー	△12,487	2,097
現金及び現金同等物に 係る換算差額	50	△83
現金及び現金同等物の 増減額	△3,160	△2,216
現金及び現金同等物の 期首残高	27,276	26,738
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,117	24,522

Point 6 営業活動による
キャッシュ・フロー

+8,351百万円(収入)

四半期純利益及び減価償却
費が主要因です。

Point 7 投資活動による
キャッシュ・フロー

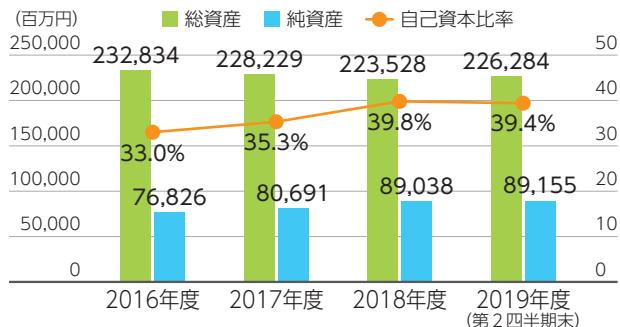
△12,581百万円(支出)

船舶の取得による支出が
主要因です。

親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



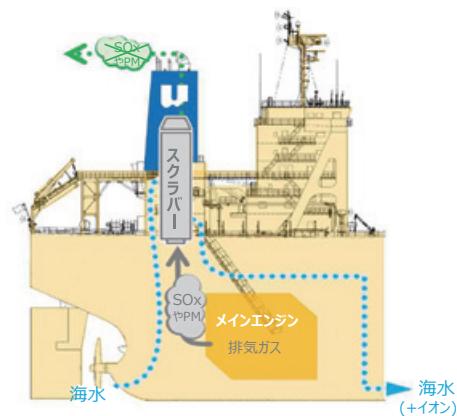
総資産・純資産・自己資本比率



環境対応 SOx規制強化に向けた取り組み

SOx規制とは、MARPOL条約（船舶による汚染の防止のための国際条約）で規定された、船舶からの排ガスに含まれる硫黄酸化物（SOx）を抑制するための規制です。2020年1月から、規制に適合する硫黄濃度0.5%以下の燃料油（適合油）の使用が義務付けられ、代替手段として、排ガスの硫黄分を規制値以下に低減する装置である**SOxスクラバー（排ガス洗浄装置）**の使用が認められています。

この規制に対して、当社では“適合油の使用”と“SOxスクラバーの採用”の2つの方法で対応しており、適合油を使用する船は、10月から適合油への切り替えを順次開始し、燃料タンク内の高硫黄燃料油は年内にすべて消費します。また、SOxスクラバーを搭載した新造船の竣工が続き、既存船20隻についても、6月上旬に入渠した第一船目のNSU OBELISKをはじめ、着々とSOxスクラバー搭載工事が進められています。



SOx
スクラバー
(排ガス
洗浄装置)

SOxスクラバーは、排ガスに海水を噴霧しSOxを洗い流す装置で、適合油を使用した場合と同等のSOx排出量に低減することができます。現在使用している低価格の高硫黄燃料を使用できる利点があり、価格競争力が高まるものと期待されています。

設立年月日 1950年4月1日
主要な事業内容 外航貨物海上運送事業およびこれに関連または付帯する事業
資本の額 103億円
上場取引所 東京（市場第一部）
本社 〒100-8108
 東京都千代田区大手町一丁目5番1号
 Tel (03) 6895-6400（番号案内席）
駐在員事務所 上海、ベトナム
海外法人 英国、米国、香港、シンガポール、フィリピン
従業員数 陸上189名、海上39名、計228名
 （出向者を含みます）

役員

代表取締役社長	谷水一雄	取締役(社外)	青木 泰
専任取締役	左光真啓	取締役(社外)	木村 真人
取締役	矢口 新	取締役(社外・独立)	木下 雅之
取締役	小山田 充宏	取締役(社外・独立)	大西 節
取締役	石川 寛二		
常勤監査役(社外)	峯村保広	監査役(社外・独立)	三谷 康人
	与田直樹	監査役(社外)	千原 圭三
常務執行役員	中田義文	執行役員	北里 真一
常務執行役員	福田和志	執行役員	金光 潔
執行役員	宮井成彦	執行役員	福田 雄二
執行役員	藤田 透	執行役員	紀平 徹
執行役員	阿諏訪 直樹		

主要なグループ会社

NSユナイテッド内航海運株式会社	内航海運業
NSユナイテッドタンカー株式会社	内航海運業
NSユナイテッドマリンサービス株式会社	安全監督・新造船建造監督業 船員派遣事業
NSユナイテッドビジネス株式会社	経理業務受託
NSユナイテッドシステム株式会社	情報システムの開発・保守業

株式の状況

発行済み株式の総数 23,970,679株
株主数 5,979名（単元未満株主も含みます）
大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本製鉄株式会社	7,861	33.36
日本郵船株式会社	4,324	18.35
株式会社みずほ銀行	798	3.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	651	2.76
東京海上日動火災保険株式会社	606	2.58
三菱重工業株式会社	540	2.29
新健海運股分有限公司	504	2.14
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	489	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	483	2.05
三井住友海上火災保険株式会社	354	1.50

(注) 当社は自己株式403千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

(注) 出資比率は自己株式（403千株）を控除して計算しております。

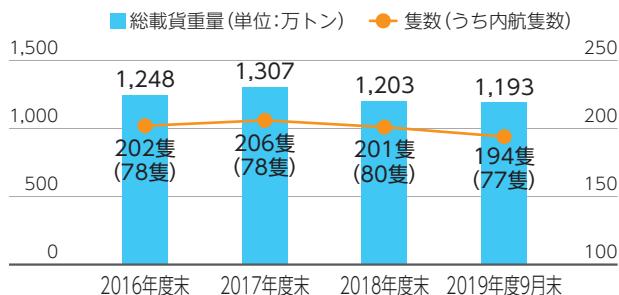
2019年度第2四半期累計期間当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総載貨重量(トン)
外航	6隻	701,289
内航	1隻	1,680

2019年度(第3-4四半期)当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総載貨重量(トン)
外航	6隻	1,363,350
内航	3隻	6,380

当社船腹量の推移(連結)



株主メモ

決算期日 3月31日 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 期末配当金支払株主確定日 3月31日
 (中間配当金支払株主確定日 9月30日) 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 定時株主総会開催日 6月下旬
 同総会権利行使株主確定日 3月31日
 みずほ信託銀行株式会社
 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネット ブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

基準日 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。
 単元株式数 100株 (2017年9月27日より取引所における売買単位が変更となっております)
 公告の方法 電子公告により行う。
 公告掲載URL <http://www.nsuship.co.jp/>
 (ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載されます)
 証券コード 9110



環境にやさしい植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council)®
 で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC® 認証紙を使用しています。



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しております。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】

<http://www.nsuship.co.jp/>

NS United REPORT

本レポートは、当社グループの企業活動と社会的責任に対する考え方や、環境保全と安全運航への取り組み、中期的ビジョンについて、内外全てのステークホルダーの皆様に広くご理解いただくことを目的としています。

当社ホームページでPDF版をご覧ください。冊子版をご希望の方は、「エコほっとライン」より無料でご請求いただけます。

https://www.ecohotline.com/products/detail.php?product_id=2817



NSユニテッド海運株式会社

〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1
 大手町ファーストスクエア ウエストタワー
 TEL 03-6895-6400